

テレビスタンド 壁寄せ(EEX-TVS007シリーズ)組立説明書

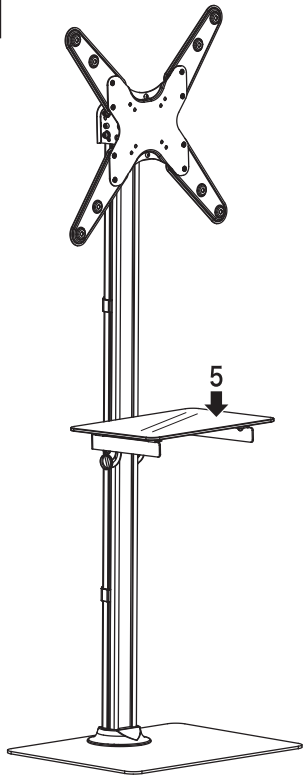
この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

組立説明書は大切に保管してください。
この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

<用意していただくもの>
手袋(組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください)
はさみ、プラスドライバー、毛布・ダンボールなど

Ver1.1

完成図



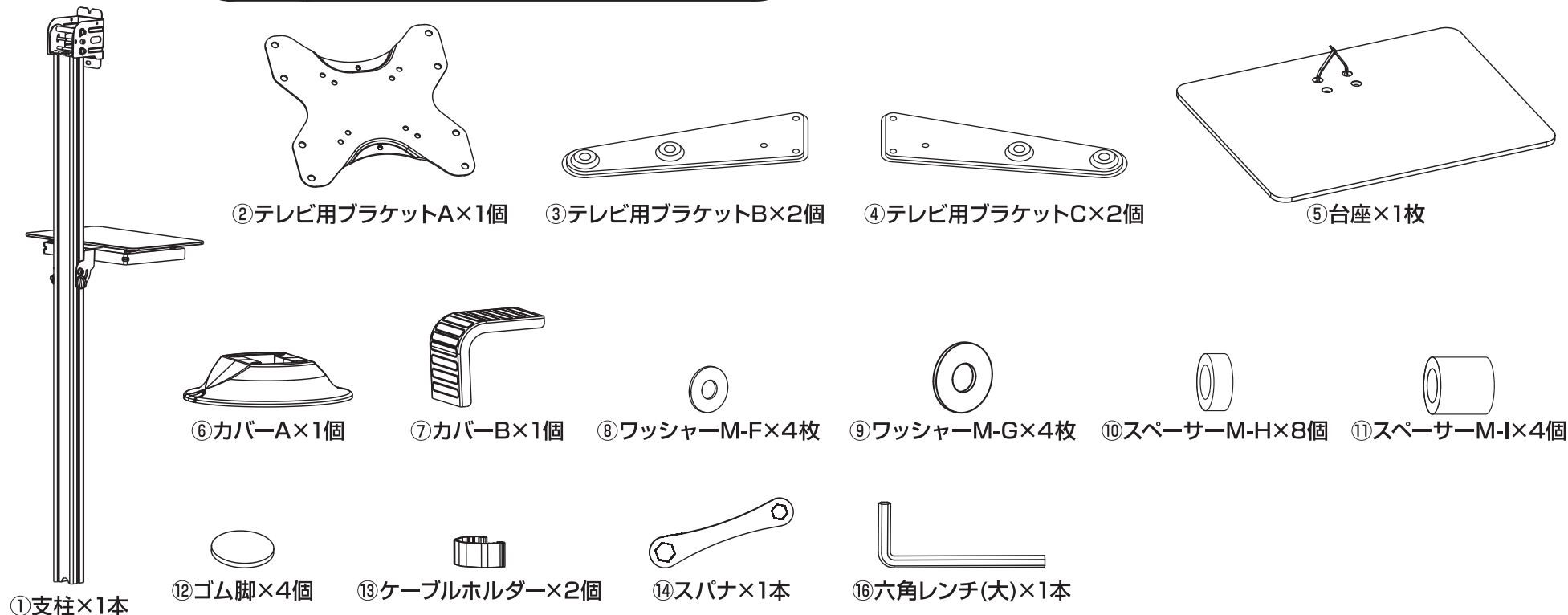
総耐荷重 25kg
(25kg以下のテレビを取付け可能)

組立て部品

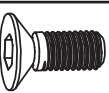


本製品にはガラス部品が含まれています。
取り扱いには充分ご注意ください。

※部品の欠品や破損があった場合は、品番(EEX-TVS007など)と
上記の部品番号(①~⑳)と部品名(ゴム脚など)をお知らせください。



<使用ボルト>



⑰ボルトA (M8×20) ×4本



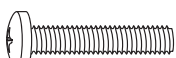
⑱ボルトB (M6×8) ×8本



⑲ボルトM-A (M5×14) ×4本



⑳ボルトM-B (M6×14) ×4本



㉑ボルトM-C (M6×30) ×4本



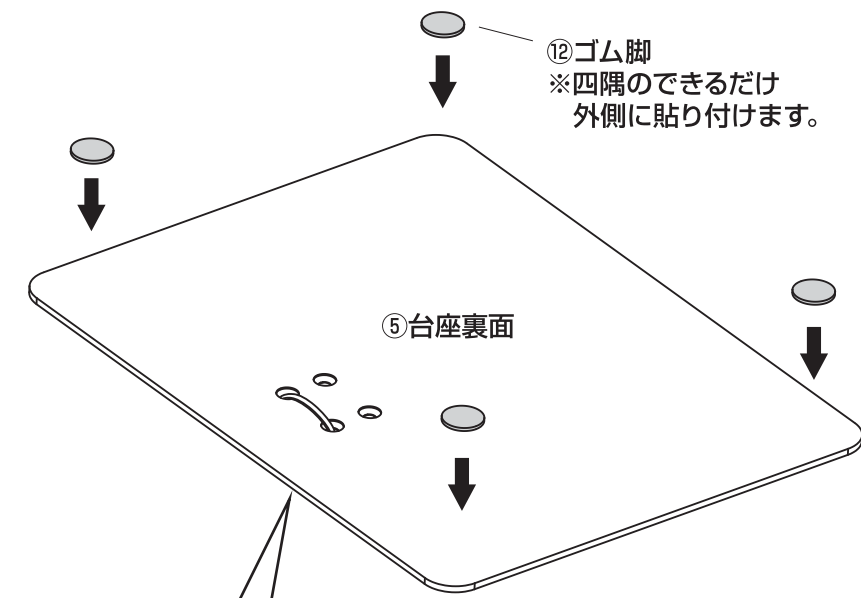
㉒ボルトM-D (M8×30) ×4本



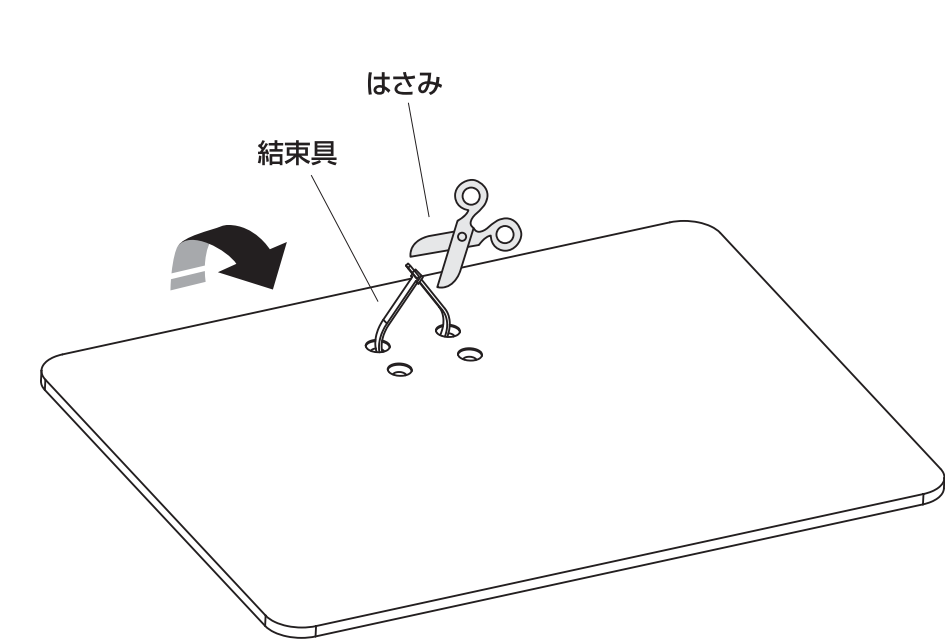
㉓ボルトM-E (M8×50) ×4本

1.台座にゴム脚を貼り付けます。

①台座裏面にゴム脚を貼り付けます。



②台座をひっくり返し結束具をはさみで切り取ります。

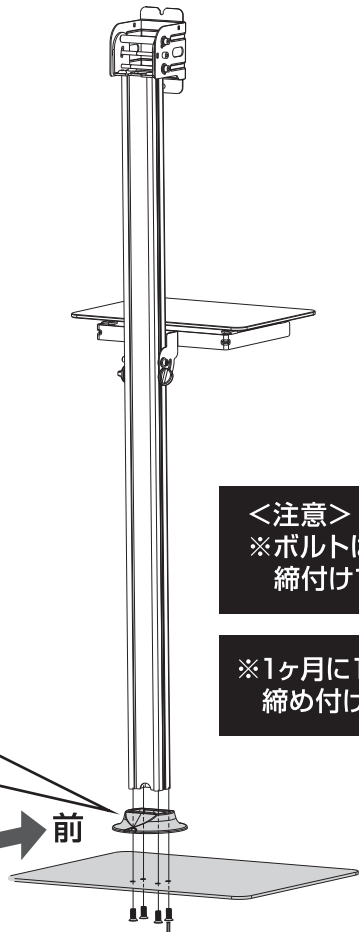
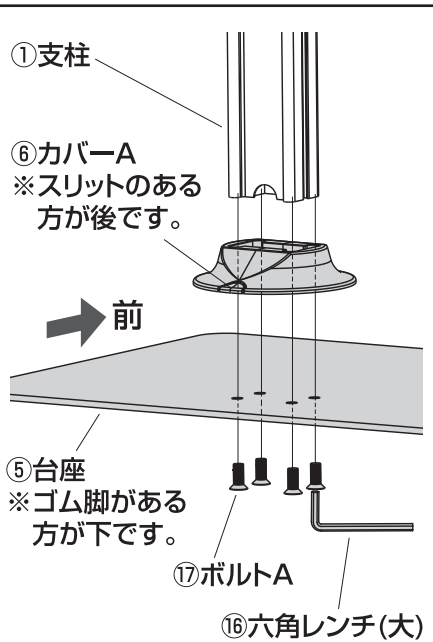


2.台座にカバーAと支柱を取付けます。

<使用ボルト>



⑰ボルトA (M8×20)



<注意>
※ボルトはしっかりと
締め付けてください。

※1ヶ月に1度ナットを
締め付けてください。

3.テレビ用ブラケットAにテレビ用ブラケットB・Cを取付けます。※テレビのねじ穴ピッチ200×200mm、100×100mmの場合はこの作業は必要ありません。

<テレビのねじ穴ピッチが400×400mm、300×300mmの場合>

③テレビ用ブラケットB

④テレビ用ブラケットC

凸側

凸側

<注意>
※ボルトはしっかりと締付けてください。

※1ヶ月に1度ボルトを締め付けてください。

④テレビ用ブラケットC

②テレビ用ブラケットA前面

③テレビ用ブラケットB

400mm

300mm

400mm

300mm

※ボルトの頭がある方が前面、先端が背面です。

①8ボルトB

<使用ボルト>

①8ボルトB〔M6×8〕

<テレビのねじ穴ピッチが400×200mmの場合>

③テレビ用ブラケットB

④テレビ用ブラケットC

凸側

凸側

<注意>
※ボルトはしっかりと締付けてください。

※1ヶ月に1度ボルトを締め付けてください。

④テレビ用ブラケットC

②テレビ用ブラケットA前面

③テレビ用ブラケットB

③テレビ用ブラケットB

④テレビ用ブラケットC

400mm

200mm

※ボルトの頭がある方が前面、先端が背面です。

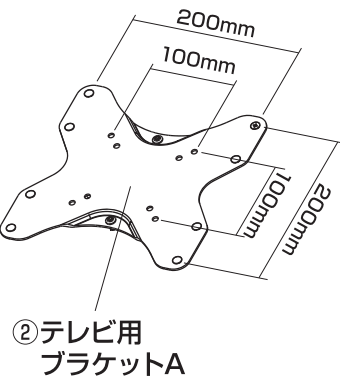
①8ボルトB

<使用ボルト>

①8ボルトB〔M6×8〕

<テレビのねじ穴ピッチが200×200mmまたは100×100の場合>

※テレビ用ブラケットB、Cは使用しません。



4.テレビの背面にテレビ用ブラケットBを取付けます。

<注意>
・毛布などを下に敷き、テレビへの傷や破損に十分ご注意ください。
・テレビに付属しているスタンド類は取外してください。
スタンド類の取外し方法はテレビの取扱説明書をご参照ください。

※付属のボルトが最後まで締まらない、またボルトが少ししか回っていないなど、ボルトが合わない場合は、強度に十分ご注意の上、市販の適切なサイズのボルトをご用意ください。

毛布など

上

③テレビ用ブラケットB

テレビ背面

ボルトM-A,B,C,D,E

ワッシャーM-F,G

テレビ用ブラケットB,C
※凸になっている方がテレビ側です。

スペーサーM-H、スペーサーM-I
※テレビの突起にブラケットが干渉する場合に取付けます。

テレビのねじ穴ピッチが200×200mmまたは100×100mmの場合はテレビ用ブラケットB,Cは使用しません。

200mm

100mm

100mm

200mm

<注意>
ボルトが長すぎるとテレビを破損する場合があります。また、ボルトが短すぎるとテレビがしっかりと固定できず脱落する恐れがあります。
取付けに適したボルトの長さは各テレビによって異なります。必ずテレビの取扱説明書や、メーカーへの問い合わせなどでご確認の上、適切な長さのボルトを使用してください。

テレビの突起とテレビ用ブラケットBが干渉する場合

テレビ

③テレビ用ブラケットB

突起に干渉している

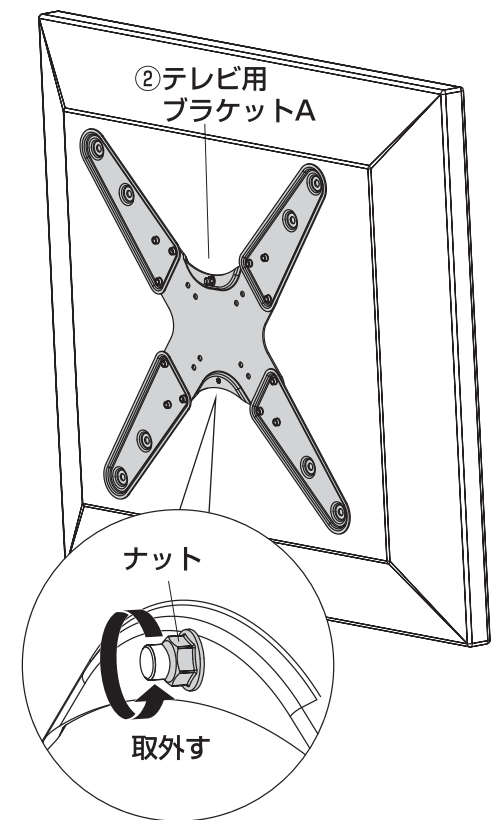
テレビ

③テレビ用ブラケットB

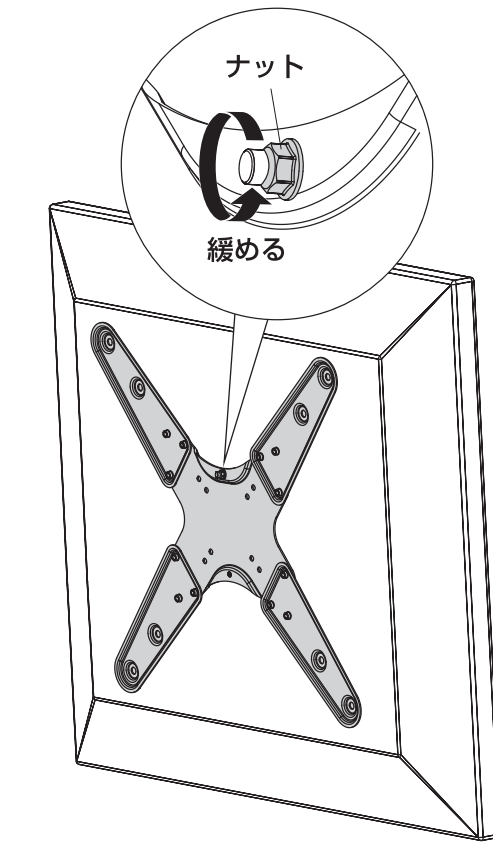
スペーサーM-G、M-Hを使用します。
※組み合わせて使用することもできます。

5.支柱にテレビ用ブラケットを取付けます。

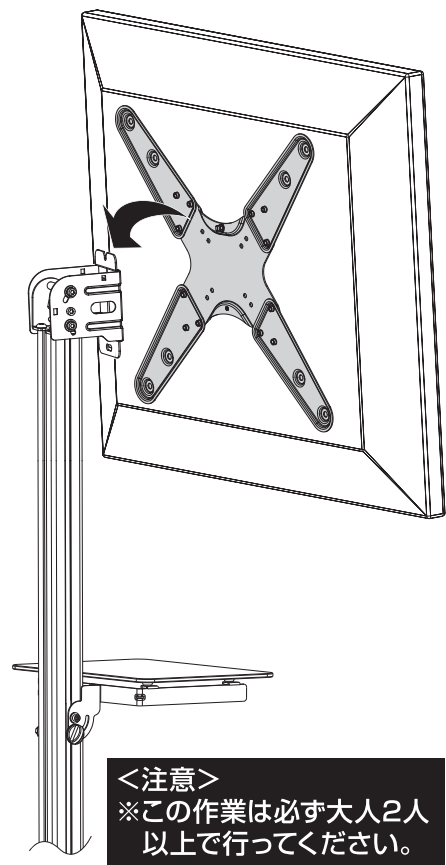
①テレビ用ブラケットAの下側のナットを取外します。



②テレビ用ブラケットAの上側のナットを緩めます。



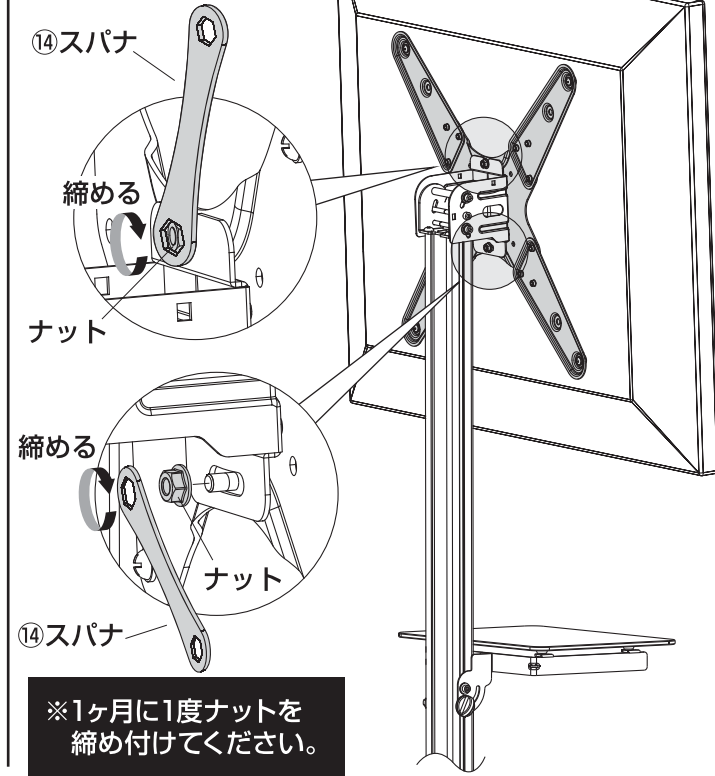
③支柱にテレビ用ブラケットAを引っ掛けます。



<注意>
※この作業は必ず大人2人以上で行ってください。

④テレビ用ブラケットAをナットで固定します。

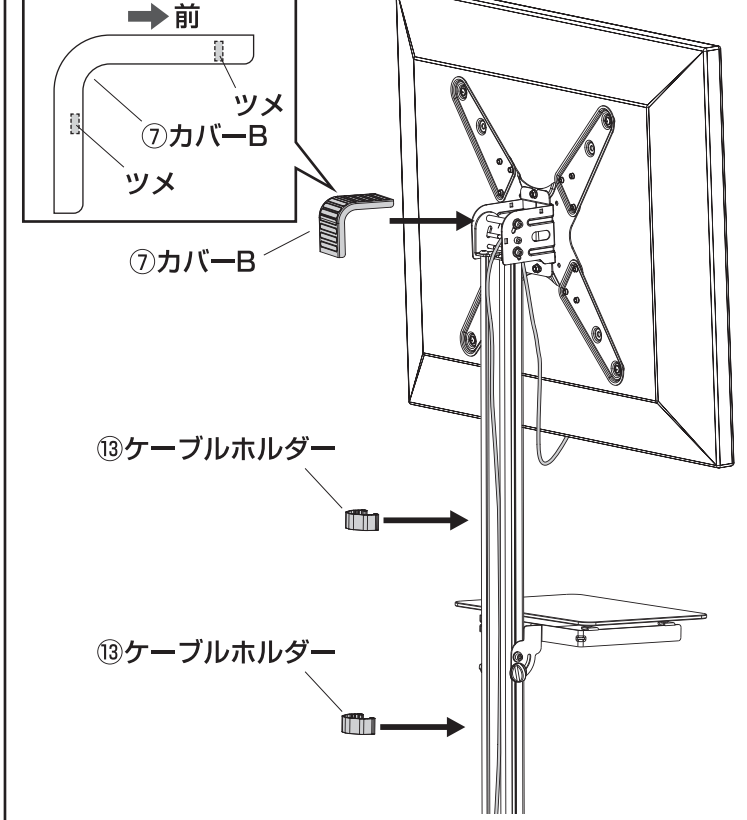
<注意>
※ナットはしっかりと締め付けてください。



※1ヶ月に1度ナットを締め付けてください。

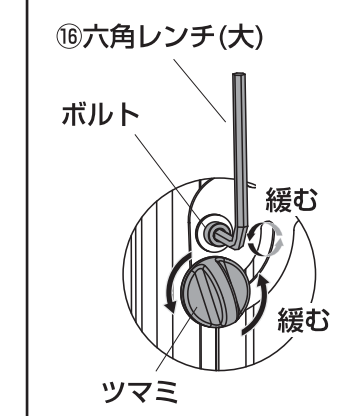
6.カバーBとケーブルホルダーを取付けて完成です。

横から見た図
内側のツメが下図の向きになるように取付けます。

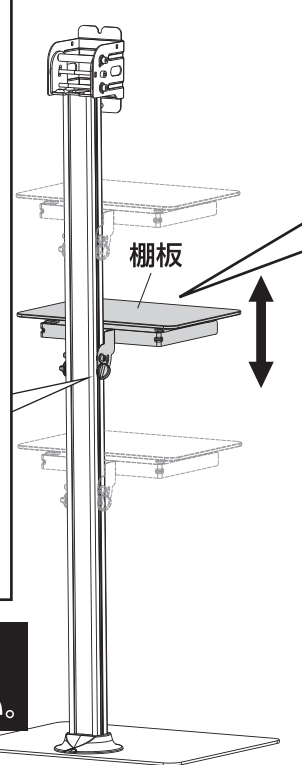


可動範囲と各部の調節方法

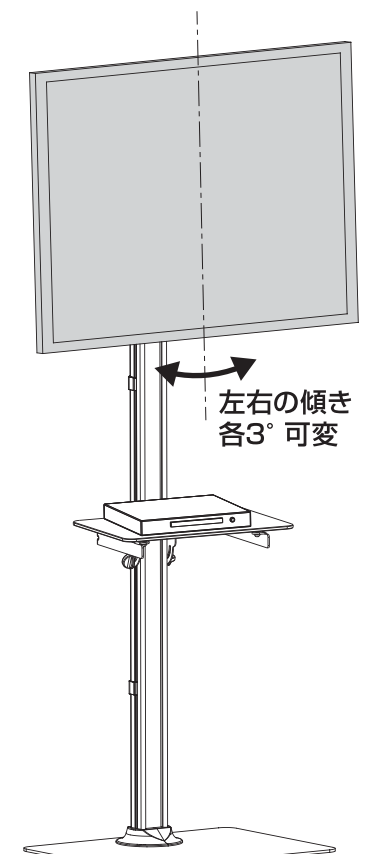
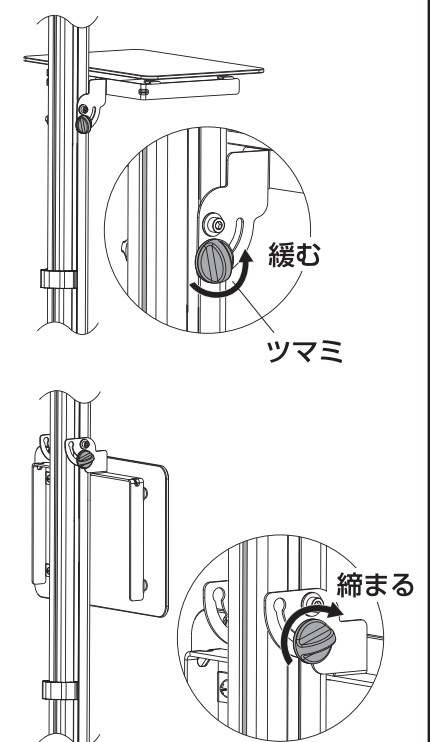
左右のボルトとツマミを緩めると、棚板の高さを調節できます。調節後はしっかりと締め付けて固定します。



※棚板の高さを調節する場合は必ず機器を降ろしてから行ってください。

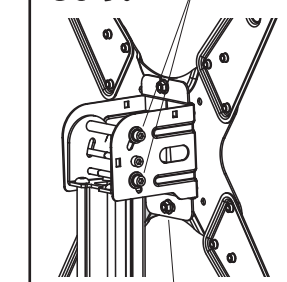


左右のボルトとツマミを緩めると、棚板を折り畳むことができます。折り畳み後はツマミを締めておきます。



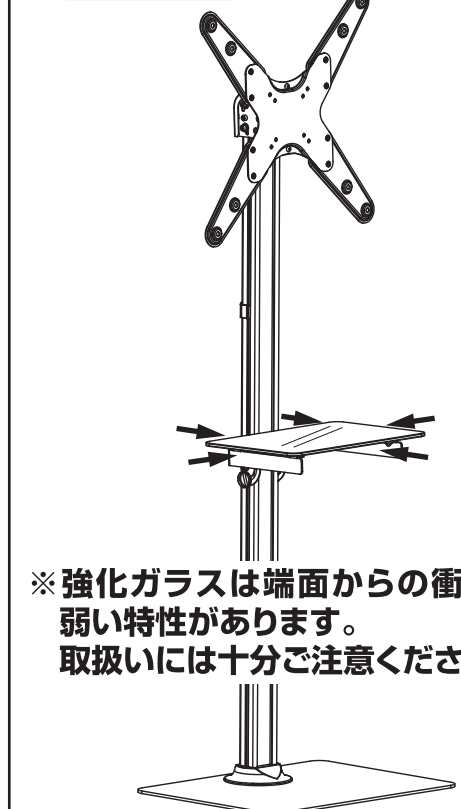
上下角度
上方向3°
下方向14° 可変

上下角度を調節する場合は側面のボルトを緩めます。調節後は締め付けて固定します。



左右の傾きを調節する場合は下側のボルトを緩めます。調節後は締め付けて固定します。

⚠ 注意



※強化ガラスは端面からの衝撃に弱い特性があります。取扱いには十分ご注意ください。

使用上のご注意

- 【取扱い上の注意】
- 製品の上に腰掛けたり、乗らないでください。
 - 加熱した鍋、湯沸かし器、アイロン等を直接置かないでください。
 - 直射日光またはストーブの熱、クーラーの風が当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
 - 必ず屋内の平坦で安定した場所で使用してください。
 - 物を乗せた状態で移動させないでください。
 - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
 - 用途以外で使用しないでください。
 - 分解、改造、修理をしないでください。
 - 部品を外したり、部品が外れたままで使用しないでください。
 - ボルト・ネジ類がゆるんだまま使用しないでください。
 - 耐荷重以上の重さの物やを乗せないでください。

以上の点に注意して取扱ってください。

製品に関するお問い合わせ

製品の品質管理には細心の注意をはらっていますが、万一、不都合な点や製品に関するお問い合わせなどございましたら、お買い求めの販売店までお気軽にご相談ください。

BJ/AC/TTD08C

山陽トランスポート有限会社

店舗名: イーサプライ <http://www.esupply.co.jp>

岡山県倉敷市児島神田町1861 TEL: 086-473-9152